

# みんなの民報

しあわせを  
共に産み出す党  
日本共産党

## 十二月町議会報告

町議会議員 常山 知子

十二月十一日～十二日の会期中で皆野町議会定例会が開かれました。(会期は2日間でしたが、十一日ですべての審議が終了し、閉会となりました) 一般質問は4名(小杉、常山、林、内海)の各議員が行いました。町長提出議案は11件でした。

### 〈主な審議内容〉

#### 給食費が値上げ

議案33号

消費税8%の引き上げ、食材の価格上昇、地場産物・埼玉県産や国内産食材の調達が困難になったという理由で給食費の値上げが提案され、賛成多数で可決。

●幼稚園児・小学生(五百円UP)

三千六百元→四千四百円

●中学生(六百円UP)

四千二百円→四千八百円

平成二十七年四月から実施

○常山議員は、消費税8%増税された中で食材等の価格が上昇しているが、保護者に負担を求めるべきではない、子育て支援の町と

いのであれば、給食費の値上げではなく、学校給食費免除(現在、3人目の子どもは免除)の枠を拡大していくのが町のやることではないかという考えで反対しました。(反対議員 常山、内海)

(賛成議員 9名)

#### 長寿祝い金 77歳を除外

議案35号

現在、町では長寿祝い金を77歳・80歳・85歳・88歳・90歳・95歳・99歳・100歳に達した方に贈っています。

今回提出された議案は77歳の方の祝い金をおくる対象からはずすというものです。理由は高齢者人口の増加。賛成多数で可決。

○常山議員は、祝い金を受け取るのを楽しみにしている人もいるのではないか。この祝い金は、町で使える商品券です。地域振興のためにも、77歳をはずすのは反対。ぜひ続けていただきたいという考えで反対しました。

(反対議員 常山、林、新井康)

(賛成議員 8名)



#### 皆野町遺児手当給付

##### 条例の廃止

議案37号

この条例は、ひとり親家庭、両親ともいない子どもに支給される町独自の現金給付手当です。

(月 一千元)

提案理由は、国の制度としての現金給付が充実しているため。平成二十七年四月から実施。

賛成多数で可決。

○常山議員は、何の理由にせよ片親で子どもを育てていくのは大変なことです。パートを何件もかけもちしてがんばっている親もいます。国の制度が充実していることで、いままで続けてきた町単独の手当を廃止することは、福祉を後退させること。という考えで反対しました。

(反対議員 常山、内海、林)

(賛成議員 8名)

#### 皆野町歯と口の健康づくり

推進条例の制定 議案32号

平成23年、歯科口腔保健の推進に関する国の法律が制定されたのに基づき、町民の歯と口の健康づくりに関する基本理念を定め、

町の責務等を明らかにすること、町の施策の基本となる事項を定めるものです。

○常山議員は、質疑の中で、子どもたちの歯科検診はもちろんですが、住民健診の中に歯科検診も採り入れて取り組むよう要望しました。

全会一致で可決しました。

#### 〈一般会計 補正予算〉

##### 歳入

緊急雇用創出基金 県補助金 331万5千円

##### 歳出

地域商店街活性化事業 補助金 100万円

道の駅みなの トイレ新築工事 補助金(事業費の半分) 2000万円

# 常山 知子議員の12月議会 一般質問から

## 介護保険制度の見直しについて

（質 問）

平成27年（2015年）4月からの「介護保険制度」の見直しは、要支援者に対する「訪問介護」（ホームヘルプサービス）「通所介護」（デイサービス）を介護保険から切り離し、市町村で行なう地域支援事業に移行させるとしています。

これらの受け皿として町はどのように対応していく考えですか。

（答 弁）これらのサービスは、要支援認定者のニーズや必要性によって引き続き利用できますが、地域支援事業へ移行する受け皿としては、社会福祉協議会・シルバー・商工会による「ふれあい安心お助け隊」、地域の見守り活動を受け皿として進めていきたい。

（質 問）要支援者は決して軽度者ではなく、専門的な見守りが必要。ヘルパーの仕事もボランティアが行った場合、利用者の容態を重症化させてしまう恐れがある。受け皿を探す見直しはありますか。

（答 弁）一番の問題は、受け皿の体制整備と事業所整備です。今までヘルパーとしてやってきた方々の協力も得ていきたい。

（質 問）新事業への実施は、最大2年遅らせることができます。延期する考えはありますか。

（答 弁）町として平成27年4月からの実施は困難であり、1年後の平成28年4月からの実施を考えています。

（質 問）平成27年度は、介護保険料の見直し時期ですが、町の考えは。

（答 弁）現在のサービス給付の状況からみると、介護保険料の増額をお願いせざるを得ない。

（要 望）介護保険料は払い続けているのに、本来の介護サービスが受けられない「保険あって介護なし」の事態です。

引き上げは、町民にとって大変な負担です。町がやっている介護予防事業をこれからも続けて欲しい。そのためには町だけでは大変、県や国にも要望し、町民を守る姿勢でやっていただきたい。

## 2014年12月14日 総選挙（衆議院選挙）皆野町の投票結果

### 小選挙区 選出

	得票	得票率
小泉りゅうじ（無所属）	3090	(61.8%)
今野ともひろ（自民党）	1084	(21.7%)
柴岡 ゆうま（共産党）	830	(16.6%)
無効投票数	152	

### 比例代表 選出

	得票	得票率
自由民主党	1838	(37.24%)
日本共産党	863	(17.48%)
公明党	686	(13.90%)
民主党	626	(12.68%)
維新の党	600	(12.16%)
社会民主党	115	(2.33%)
次世代の党	92	(1.86%)
生活の党	82	(1.66%)
幸福実現党	34	(0.69%)
無効投票数	219	

## 議員のひとりごと

常山 知子

「廃校になった金沢小学校を借りて、うたこえ喫茶をやらない？」  
「いいねー」「楽しそうー」話はトントンの拍子に決まりましたが、旧金沢小は借りることができませんでした。  
少しでも、地域が元気になれば!!  
そんな思いがみんなにあったのです。  
が・・・  
せっかく盛り上がった話です。「皆野総合センター」に場所を決めて、21日、アコーディオンの演奏に合わせて、大きな口をあけてみんなが歌いました。声を出して歌うことはいいことです。コーヒー、紅茶、手づくりのたらし焼、スイートポテト、金沢ただらの里のマドレーヌはみんなの口の中に・・・暮れのホンのひととき、みんなの心が温かくなった気がします。

「よかったねー」「スゴイねー」「一票入れたよー」会う人に声をかけていただいています。  
忙しい師走の選挙でした。希望が見えてきた選挙結果にまた来年もがんばれそうです